

廃炉・原子力規制等に関する人材育成の取組

Initiatives for human resource development related to decommissioning and nuclear regulation

東京電力福島第一原子力発電所事故を機に、本校では原子力発電所廃止措置分野や原子力及び原子力規制分野で活躍可能な高専生の人材育成を進めております。本取組は省庁や国内外の産業界、教育・研究機関等と連携をし、より多くの優秀な学生を原子力産業へ導くことを目的としています。

In the wake of the accident at TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Station, we have been promoting human resource development of technical college students who can be active in the fields of nuclear power plant decommissioning and nuclear power and nuclear power regulation. This program is being carried out in cooperation with government ministries and agencies, domestic and international industry, and educational and research institutions.

This program aims to lead more excellent students to the nuclear power industry in cooperation with ministries and agencies, domestic and foreign industries, and educational and research institutions.

1. 原子力関係講義

廃炉や放射線、原子力に関する知識を深めるため1～5年生の各学年において科目を開講しています。受講は学科を問わず可能で、e-learning形式の科目については単位互換協定のある全国の高専生が聴講可能です。

科目名	学年	形式
原子力発電基礎	1年	集中講義
放射線基礎	2年	e-learning
環境科学基礎	2年	
廃炉ロボット概論	3年	e-learning
廃炉工学	4年	e-learning
環境工学	4年	
原子力事故総論	5年	集中講義

2. 廃炉創造ロボコン

本大会は長期に及ぶ東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業を想定して、どんなロボットが必要かを思い描き、課題と解決策を考え、それらを反映させたロボットを高専生が製作します。ロボット製作を通じて、今後活躍を期待される世代の学生に廃炉に関する興味を持ってもらうと同時に、学生の創造性・課題解決能力・課題発見能力を養うことを目的としております。

【R6年度参加校】

国内15高専（16チーム）

海外マレーシア工科大学（1チーム）



第8回廃炉創造ロボコン 競技の様子

3. 研修、施設見学

原子力規制の現場を正しく理解すること、また講義内容の現実を知り、現場の状況を正しく理解すること等を目的に国内外で研修、施設見学を実施しています。

【主な研修先】 福島第一、第二原子力規制事務所
原子力規制庁本庁、原子力安全研修所
日本原子力研究開発機構
原子力機構幌延深地層研究センター
東京電力
英国セラフィールド社



シェフィールド大学研修

4. 国際機関、海外大学との連携

国際機関や海外の大学（イギリス・シェフィールド大学、アメリカ・マサチューセッツ工科大学）との組織的連携により、学生の国際研鑽の機会を設けています。